

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境			0.40					4.0
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁の躯体厚さを180mm以上とし、Dr-50の性能を確保する。	3.0	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		2.2	0.35	5.0	1.00			4.7
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	年間暖冷房負荷 460	1.0	0.38	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		1.9	0.25	3.4	1.00			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	2.9	0.50			
1 昼光率	ロビーラウンジ 昼光率=26.6% S2-Fタイプ 昼光率=1.9%	5.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	住戸部分は庇(バルコニー含む)設置、かつカーテンレールを設置	1.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気環境		4.2	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F・VOCの放出が極めて少ない部材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.6	0.40	3.8	1.00			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性	各住戸で100Mbitのブロードバンドが利用可能	3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観	天井高2.5m以上	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	コンセプト・パース等の検討により内装計画を行った。	5.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	圧着タイル貼、一部合成樹脂吹付(アクリルシリン)(モルタル下地)	4.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:フローリング、壁・天井:ビニールクロス仕上	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管にSUS採用、汚水排水管・雑排水管に铸铁管を採用	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		2.8	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	
		インターネットは光ケーブル、電話はメタルケーブルを使用 浸水の危険性はない					
3	対応性・更新性		2.8	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1	空間のゆとり	-	-	2.6	0.50	
		1 階高のゆとり	3.0	-	3.0	0.60	
		2 空間の形状・自由さ	3.0	-	2.0	0.40	
	3.2	荷重のゆとり	3.0	-	3.0	0.50	
	3.3	設備の更新性	2.8	1.00	-	-	
		1 空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
		2 給排水管の更新性	2.0	0.17	-	-	
		3 電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
		4 通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
		5 設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
		6 バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.8
	1	生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	3.0
	2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0
	3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.30	-	-	2.5
		3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	
		3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.6
	1	建物の熱負荷抑制	住宅性能表示制度 省エネルギー対策等級4取得予定	5.0	0.40	-	5.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	3.0
		2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	
		2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	
	3	設備システムの高効率化	潜熱回収型給湯器エコジョーズの採用	5.0	0.40	-	5.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	5.0	-	-	
		集合住宅の評価		5.0	-	-	
	4	効率的運用		-	-	-	-
		4.1 モニタリング		3.0	-	-	
		4.2 運用管理体制		3.0	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
	1	水資源保護		2.2	0.15	-	2.2
		1.1 節水		1.0	0.40	-	
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
		1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	
	2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.63	-	3.1
		2.1 材料使用量の削減		3.0	0.07	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	
		2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	ダンフスマ	3.0	0.20	-	
		2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内壁二重壁工法より躯体と仕上分別可能	4.0	0.24	-	
	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.22	-	3.3
		3.1 有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含有しない壁紙用接着剤使用	4.0	0.32	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	
		1 消火剤		-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	
		3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
	1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率72%	4.1	0.33	-	4.1
	2	地域環境への配慮		3.5	0.33	-	3.5
		2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	
		2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率 = 98.88%	4.0	0.50	-	
		2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	
		1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
		2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
		3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
	3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	3.0
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
		1 騒音		3.0	1.00	-	
		2 振動		-	-	-	
		3 悪臭		-	-	-	
		3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	
		1 風害の抑制		3.0	0.70	-	
		2 砂塵の抑制		3.0	-	-	
		3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	
		3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
		2 曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	